

「岩原山神社のお舟祭り」復活

年 組 名前

安曇野市堀金烏川の岩原地区の砂渡神社（通称・岩原山神社）で、市無形民俗文化財「岩原山神社のお舟祭り」が5年ぶりに開かれました。どのよう
に祭りを行ったのか、記事を読み取りましょう。

① 次の漢字の読みがなを書きましよう。

() () () () () ()
 地元 境内 務

② 今年は女性や地区外からも参加者を募りました。参加したのは、何人ですか。()に入る数字を書きましよう。

公募に応じた女性 () 人、地区外の
 () 人ほどを含め、19年の () 倍
 近い () 人が参加。

③ お舟の大きさは、どのくらいですか。

長さ――

幅――

④ お舟を、どこからどこまで担ぎましたか。

どこから――

どこまで――

⑤ 境内に到着すると、何をしましたか。最後にお舟をどうしましたか。

到着すると――

最後に――

力を合わせて「お舟」を運ぶ担ぎ手たち



担ぎ手不足で中断、地区外から参加者招き

安曇野市の無形民俗文化財

「岩原山神社のお舟祭り」復活

安曇野市堀金烏川の岩原地区の砂渡山神社（通称・岩原山神社）で28日、氏子らが舟形の「お舟」を担ぐ市無形民俗文化財「岩原山神社のお舟祭り」が開かれた。新型コロナウイルスの影響で地元男性の「担ぎ手」が不足し、2019年を最後に中断を余儀なくされたが、今年は女性や地区外からも参加者を募って5年ぶりに開催。参加者は性別や地区の枠を超え、人と人を結ぶ祭りの醍醐味をかみしめながら、力を合わせて重いお舟を担ぎ上げた。

公募に応じた女性6人、地区外の20人ほどを含め、19年の2倍近い58人が参加。お舟は長さ9尺、幅2・2尺ほど。展示していた国営アルプスあづみの公園から運び出し、約900メートル離れた同神社まで担いだ。

道中では、お舟の周囲で子どもたちが「わっしょい」とはしゃいだ。境内に到着するとしめ縄を張った「舟頭石」を3周。最後に、五穀豊穰などを願って坂からお舟を豪快に転がして壊した。

公募で父親とお舟を担いだ長野市の自営業、宮沢孝誌さん（48）は「子どもが多くてすごく楽しい。親の姿を見て次の担ぎ手になるんですね」と充実した表情を浮かべた。

神社氏子総代を務める百瀬新治さん（72）は地区外からの参加者に「来年も参加したい」と声をかけられたといい、「感謝しかない」と話した。主催する祭典保存会長の尾日向和孝さん（49）は「みんなが協力的で盛り上がり、いい祭りになった」と喜んだ。

(2024年4月29日・地域面〈中南信〉)

「岩原山神社のお舟祭り」復活

解答例

年 組 名前

安曇野市堀金烏川の岩原地地区の砂渡神社（通称・岩原山神社）で、市無形民俗文化財「岩原山神社のお舟祭り」が5年ぶりに開かれました。どのよう

① 次の漢字の読みがなを書きましよう。

（じもと） 地元 境内 務 （けいだい） （つと） める

② 今年は女性や地区外からも参加者を募りました。参加したのは、何人ですか。（ ）に入る数字を書きましよう。

公募に応じた女性（6）人、地区外の近い（58）人が参加。

③ お舟の大きさは、どのくらいですか。

長さ—9m

幅—2.2mほど

④ お舟を、どこからどこまで担ぎましたか。

どこから—（展示していた）国営アルプスあづみの公園

どこまで—約900m離れた同神社

⑤ 境内に到着すると、何をしましたか。最後にお舟をどうしましたか。

到着すると—しめ縄を張った「舟頭石」を3周最後に—五穀豊穡などを願って坂からお舟を豪快に転がして壊した